

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

平成 29 年 6 月 7 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | バイオマス（木屑）への燃料転換を伴うボイラー設備更新事業 |
| 承認番号 | JCDM-PJKC0110 |
| 排出削減事業者名 | 株式会社サイプレス・スナダヤ |
| 排出削減共同実施事業者名 | E Sカーボンクレジット合同会社 |
| 事業実施場所 | 株式会社サイプレス・スナダヤ (愛媛県西条市小松町新屋敷甲 1171-1) |
| 事業の概要 | 製品乾燥用として使用している主力のボイラーを A 重油ボイラーから木屑焚きボイラーに変更する。木屑焚きボイラーの燃料として、集成材（土台・柱）製造工程上発生し、これまで産業廃棄物として処分する代わりに電力会社や農家等へ提供していた木屑を使用することで、A 重油の使用量を減少させ CO2 排出量の削減を図るものである。 |
| 排出削減量の計画 | 2008 年度： 751tCO2/年 2009 年度： 929t CO2/年 2010 年度： 929t CO2/年 2011 年度： 929t CO2/年 2012 年度： 929t CO2/年 2013 年度： 838t CO2/年 2014 年度： 845tCO2/年 2015 年度： 856t CO2/年 2016 年度： 164t CO2/年 (事業実施期間合計 7,170tCO2) |
| クレジット認証期間 | 開始日 2008 年 6 月 10 日 終了予定日 2016 年 6 月 9 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2016 年 |

| | |
|---------|-------------------|
| | 6月9日となっている。 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 004 空調設備の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年5月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|--|
| 排出削減量 | 2,581tCO ₂ （2013年4月1日～2016年5月31日） |
|-------|--|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 審査手続き |
|--|---|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。 | <p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 今回は初回の実績確認ではないことから該当しない。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働の確認 生産量の記録及びボイラー日報、事業者へのヒアリング等により、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。</p> |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | <p>1) モニタリング方法の確認 生産量の記録及びボイラー日報、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 生産量の記録及びボイラー日報、排出削減事業関係者へのヒアリング等により、活動量となる生産量、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> |

| | |
|---------------------------|---|
| | <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 事業者へのヒアリング並びにJ-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.8により、排出削減量の算定式及び使用されている電力の排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を生産記録、ボイラー日報の記録との突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p> |
| 算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと | 今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2016年5月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2016年6月9日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。 |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は、原油換算 1,213.7kL、熱量換算 47,044.1GJ であることを確認した。

以 上